

仕様書		仕様書番号	高工校企060001
		作成年月日	令和7年4月14日
件 名	高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題の作成・提供等	作成部課室	高工校企画室
		単 位	一式

- 1 適用範囲

この仕様書は、高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題の作成・提供等の委託について適用する。
- 2 目 的

高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題の作成・提供等を部外者に委託することにより、問題作成業務の効率化を図る。
- 3 参考図書

官側は必要に応じて、契約相手方に対し契約日から納期までの間、過去3か年分の高等工科学校生徒採用試験問題及び官側が必要と認める図書を貸し付ける。
- 4 役務内容
 - (1) 全 般

ア 問題の出題形式は、選択式、短答式及び論述式とすること。

イ 問題作成にあたっては、題意の把握が容易なように着意し、題意について疑義が生じないようにすること。

ウ 問題が、ある条件下で成立するような場合、その条件を明確にすること。

エ 過去3年間の高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題の他、自衛官の採用試験問題又は公刊図書に出題されている問題と類似した問題と誤解されないように配慮すること。

オ 誤字、脱字がないこと。

カ 問題それぞれに解答（正答表を含む。）、解説を添付すること。
また、問題は別紙第1及び2「試験問題作成資料」に示す利用グラフ数、解答形式、分野及び出題内容で作成すること。

キ 問題の形式（文字の大きさ、字体等を含む。）は、過去問題を参考にすること。

ク 二重否定の問題は避けること。
 - (2) 表現及び用語の使用

ア 表現は、疑義が生じないように、明確であるとともに簡潔であること。

イ 用語は、受験者全員に同じように解釈されるものであること。

ウ 慣用の学術用語及び訳語は、一般社会で統一されているものであること。

エ 中学校第3学年2学期（12月末まで）までに学習する常用漢字（平成22年内閣告示第2号）以外の漢字の使用は必要最小限に留めるとともに、使用する際は、ふりがな（ルビ）を付けること。
 - (3) 選択肢の形式

ア 解答は、あらゆる角度からみて確実に正しい唯一のものであること。（解答の順不同は不可）

イ 相互に独立したものであること。

ウ 一つの選択肢が他の選択肢と関連があり、それにより解答が見いだされることがないこと。

エ 各選択肢は、平等又は対等で極端に次元の異なるものでないこと。

オ 選択肢の配置は、数的又は一般的に順序がある場合、その順序に従って配置すること。
 - (4) 短答式の形式

ア 解答は、あらゆる角度からみて確実に正しい唯一のものであること。（解答の順不同は不可）

イ 単位が必要な場合は、必ず明記すること。
 - (5) 論述式の形式

解答は、複数のデータ（図及び表並びにグラフ等）から読み取れる要点が、120字以上150字以下を基準に論述内に的確に含まれていること。

(6) 問題の出題範囲等

- ア 出題範囲（程度）は、中学校第3学年2学期（12月末まで）程度とし、中学校の学習範囲を厳守すること。
- イ 問題は、計算用紙の配布を必要とせず、試験問題の余白で計算可能なものとする。
- ウ 問題の種類・難易度は参考図書と同等となるようにすること。
- エ 応募資格のある者の中で、教育を受けた時期により極端な差が生じないように配慮すること。

(7) 出題科目、問題数及び解答要領

- ア 読解力
3項目13問、全問解答とし、50点満点とする。
- イ 数学力
3項目20問、全問解答とし、100点満点とする。
- ウ 試験時間は、合わせて80分とする。

(8) 解答及び解説の作成・提供

- ア 選択式問題の解答は、当て推量による正解を避けるように出現順序及び出現頻度に配慮すること。
- イ 解説は、解答に至るまでの過程を詳細に記述し、図、表、グラフ等を用い、理解が容易なようにすること。
- ウ 論述形式の解答は、採点基準を詳細に解説し、得点に関わる要点を明確に示すこと。

(9) 問題用紙及び解答用紙の表題等について

別紙第3を参考に作成すること。

(10) 作成部数

4種類 各1部ずつ

5 納期（基準）

確定稿を令和7年8月25日（月）までに納品すること。

※ 初校納入後、校正を3回（基準）実施する。初校納入時期は、令和7年6月16日（月）を基準とするも、細部は調整による。

6 納品（提供）要領

契約相手方は、第4項のとおり問題等を作成した後、次の要領で紙媒体（1部）とデータ（可搬記録媒体に記録）を官側に納品（提供）するものとする。

(1) 紙媒体

- ア 上質紙（A4縦）に片面印刷し、ページを付す。
- イ フラットファイル（A4縦）に綴じ、「件名」、「契約相手方名称」及び「納品日」を表示する。
- ウ 部数は、「問題」と「解答（正答表を含む。）」、「解説及び試験問題作成資料」各1部（別綴じ）とする。

(2) データ

- ア マイクロソフトオフィスを使用して編集できる状態で、可搬記録媒体に記録する。
- イ 納品する可搬記録媒体は、ウイルス検索及びパスワード設定（別示）等保全に万全の注意を払うものとする。

(3) 校正

- ア 校正時の提出は、データ提出とし、官側による校正は校了まで（3回を基準）実施するものとする。
この際、契約の相手方は、官側が指示する修正に基づき、問題を修正し、速やかに高等工科学学校企画室へ提出するものとする。またその際に契約の相手方は、修正した箇所を明確に示すと共に別紙第5を提出して校正の都度、官側の確認を受けること。
- イ 校正時の提出データは、校正前後の修正箇所を赤字等で分かるようにした上で、校正前後の問題全文をそれぞれ添付すること。

7 検査

第4項第1号カの問題数及び第6項について実施する。

8 役務に付帯し要求する事項

(1) 書類提出

ア 入札参加希望者に対し、問題作成能力等を確認するため書類提出を求める。

イ 提出書類は、別紙第4のとおりとする。

(2) 検 証

契約相手方は、試験問題の作成にあたり、出題ミス等がないよう確実な検証を実施するものとし、そのチェック状況を別紙第5により官側に提出するものとする。特に、担当者2名による相互チェックを確実に実施し、別紙第5に記名すること。

(3) 保 全

ア 契約相手方は、社内保全規則を定めており、問題作成者として、保全に万全の注意を払うものとする。

イ 問題作成（取扱い等を含む。）に第三者が関わる場合も同様に保全に万全の注意を払うものとする。

ウ 特に問題作成から試験実施までの間、原稿（作成途中のもの、データ等を含む。）、問題作成資料、反故紙等の保管・破棄・作成場所・保管場所等に万全の注意を払うものとする。

(4) 質疑応答等

ア 契約相手方は、第6項のとおり納品された問題（以下「納品問題（解答（正答表を含む。）、解説及び試験問題作成資料を含む。本仕様書において、特に記載がない限り同じ。）」という。）について、官側からの質疑に対し、適時適切に応答すること。

イ 本仕様書で作成する問題は、納品から試験で使用するまでに相当な期間を経過する場合があることから、契約相手方は納品問題の納品から試験で使用するまでの間、経年変化等に留意し、納品問題に修正が必要となった時は、速やかに官側に通知するとともに、所要の修正をすること。また、試験問題の増刷前の最終的な点検に協力すること。

(5) 試験当日の態勢等

契約相手方は、別に連絡する試験日において、当該試験問題に関する受験者からの質疑に適時適切な応答が可能な態勢を保持するとともに、官側と二系統以上の連絡手段を保持すること。

(6) 開示請求及び自衛官募集ホームページ掲載への同意

当該試験問題に対する開示請求及び自衛官募集ホームページ掲載については、その都度、協議することなく契約相手方は、同意しているものとみなす。

9 その他

(1) 契約相手方は、問題作成・提供等のため知り得た事項に関し、官側の許可なく発表・利用等を行わないものとする。

(2) 契約相手方は、本仕様書に疑義が生じた時及び問題作成上不明な事項については、その都度、速やかに官側と調整するものとする。

(3) 契約相手方は、本仕様書の役務等に必要な消耗品等を負担するものとする。

(4) 契約相手方は、納品問題の品質に不適合がある時は、契約不適合責任を負うものとし、官側と協議の上、所定の対応をするものとする。

(5) 試験問題作成の際、試験問題案等の管理及び校正データの授受に当たっては情報保全に留意し、官側と協議の上、情報流失防止に必要な手段を講ずること。

試験問題作成資料
(読解力の出題方法)

問題 No	利用グラフ数	解答形式	出題数	配点	正答率
問 1	単一	選択式 (五者択一)	1 問	5 点	70%
問 2	複数	選択肢 (文章穴埋め) : 2 点×10 個 (語句・数値記入形式や選択肢から選ぶ形式)	10 問	20 点	60%
問 3	複数	(1) 短答式 (語句や数値記入) : 5 点 (2) 論述式 ((1) の理由を 120 字以上 150 字以下の作文で説明する形式) : 20 点 (要点が 4 個記入されているか。1 個あたり 5 点) (誤字、脱字 1 文字につき 1 点減点、5 文字以上は一律 5 点減点。) (100 字以上 119 字以下 10 点減点、99 字以下は 0 点)	(1) 1 問 (2) 1 問	25 点	50%

試験問題作成資料
(数学力の出題方法)

問題 No	分野	出題内容	解答形式	出題数	配点	正答率
問 1	代数 統計	(1) 正の数・負の数の計算 (2) 文字式の計算 (3) 因数分解 (4) 無理数の計算 (5) 2つ以上の文字が含まれている文字式の 等式の変形 (6) 1次方程式 (7) 連立方程式 (8) 2次方程式 (9) データの代表値 (10) 確率	短答式	10 問	5 点×10 =50 点	70%
問 2	解析	(1) 反比例 (2) 1次関数 (3) 2つの1次関数の関係 (4) 2次関数の変化の割合 (5) 2次関数と図形の融合		5 問	5 点× 5 =25 点	60%
問 3	幾何	(1) おうぎ形の計量 (2) 角錐、角柱の計量 (3) 平行線と角 (4) 多角形の内角、外角 (5) 円、球の計量		5 問	5 点× 5 =25 点	60%

筆記試験問題

Ⓐ

1 受 験 心 得

- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべての係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

2 注 意 事 項

- (1) 受験番号、氏名を解答用紙の決められた欄に記入してください。（2枚目にも記入してください。）
- (2) 問題は、①～ ②までで、全部で ページにわたって印刷してあります。
- (3) 筆記試験の試験時間は 80 分です。
- (4) 声を出して読むではいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

問題作成能力等の確認のための提出書類

1 件 名

高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題の作成・提供等

2 提出書類

(1) 問題作成能力等に関する提出書類

ア 会社の沿革がわかるもの

イ 自衛官、防衛省職員、国家公務員及び地方公務員等の採用試験問題の作成実績（付紙第1）

ウ 主要な受注実績（主な受注件名、年間受注件数及び団体等、継続的に請け負っている件数及び団体等名）

エ 社内保全規則及び採用試験問題作成における保全態勢

※ 第三者が問題作成（取扱い等を含む。）する場合は、第三者に関するものを含む。

オ 科目ごとの作問及び校正担当者表（付紙第2）

カ 試験問題作成において、自社のみで作成を完結できる証明

キ 試験日当日における試験問題内容の問合せ等の連絡態勢

ク 開示請求への可否についてわかるもの

(2) 参考資料としての提出書類

受験者の試験問題持ち帰りの可否についてわかるもの

3 提出部数

各1部

4 提出書類の様式

付紙第1及び第2以外は任意とする。（提出書類には、会社名等を表示するとともに、第2項の順に綴るものとする。）

5 提出期限

分任契約担当官の定めによる。

6 提出先

東部方面会計隊第407会計隊契約班

7 その他

(1) 第2項の書類は、これまで何らかの形で防衛省へ提出又は説明済みのものであっても、漏れなく提出すること。

(2) 書類提出後、官側から補足資料等の提出を求める場合には、速やかに対応すること。

高等工科学校生徒（推薦）採用試験問題のチェック状況表

項目		設問番号																															
		読解力													数学力																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
共通事項	問題文、選択肢及び図面等（以下「設問」という）の形式、記号等の書体が、設問全体において統一されていること																																
	官側が貸与する過去の試験問題と類似している問題がないこと																																
	用語は、全ての受験者に同じように解釈されるものであること																																
	設問及び解答及び解答解説書に誤字・脱字及び矛盾がないこと																																
	設問の正答と解答及び解答解説書の正答が一致していること																																
試験問題の 難易度 低 中 高	予め指示した出題範囲から出題されていること																																
	難易度が予め指示した程度であること																																
	確実に一つの正答が導き出せる設問であること																																
検証	設問には、分かりにくい言い回しや不要な記述がないこと																																
	問題文、図面等との関係が適切であること																																
	正答に至るための必要な条件等が、設問中に含まれていること																																
	受験者が、現在の教育課程のもとで履修しているものであること																																
	試験実施時、事実が異なるおそれがある場合は、設問中に適切な注釈等の記載がなされていること																																
	試験問題中の他の設問を参考に解答できる問題でないこと																																
	検証責任者を含む、複数の検証担当者により複数回校正したこと																																

※1 各設問番号ごとに上記の検証項目についてチェックを行い、完了後は「レ」を記入すること。
※2 提出の際、検証責任者及び検証担当者は必ず署名及び押印をすること。

陸上自衛隊高等工科学学校長 殿

上記の各項目について、社内で検証を実施したことを証明します。

令和 年 月 日

検証責任者 印

検証担当者 印

[illegible]

高等工科学学校生徒（推薦）採用試験問題の作問及び校正担当者表

[illegible]

※ 問題作成及び校正はそれぞれ作問実績を有すること
問題校正は2名以上で実施すること